

話題 其の37: “イラク戦争から16日”

英・米の思惑に反して、イラク戦争は長期化するような気配ですね。

また、当初予想されていたヨルダンなどへの100万人規模のイラク難民流出も殆ど無く、反対に戦争前からヨルダンに出稼ぎに来ていたイラク人達がイラクに帰っていくという予想外の展開になっています。これまでにヨルダンからイラクに帰国した人は6000人に及ぶと発表されています。

英・米は、この戦争の作戦名称を「**衝撃と恐怖**」と無神経に呼んでいましたが、大きな衝撃は受けながらも、今のところ難民流出は無く、逆にこの6000にも及ぶイラクの市民が命がけで帰国している状況を、どの様に受け止めているのでしょうか。

アラブの人達は、パレスチナでの自爆攻撃やインティファダなど、1948年のイスラエルによるパレスチナ進行から50余年に渡って「よそ者に侵されない自由や平和への市民の戦い」を深い憤りと共に、我が事のように見守ってきました。

パレスチナ人の全てにとってアラファト議長という人物が尊敬の対象ではない様に、イラクの人々の全てがサダム・フセイン大統領に命を捧げようと思っははいないのです。彼らは、自らの国や家族、友人、土地や住宅や財産を、武力によって、理不尽に破壊する行為に怒っているのです。

アラブの人達には「**衝撃と恐怖**」はパレスチナで繰り返されてきた身近な出来事だったし、その武力行使に対する怒りはこれまでも共有してきたものだったのです。「今度は、俺達も」というのがイラクへ帰国する人達や難民が発生しない背景にあるのだと思います。

あまりにも大きな犠牲を払って続くこの戦争で何が解決されるのでしょうか？

4月5日のNHK「週間こどもニュース」ではイラク戦争の特集を組み、「戦争にはいくらのお金がかかるのですか?」という視聴者(こども)の質問に次のように応えていました。

- **戦車** 1台の価格: **5億1600万円** • **戦闘車両**の価格: **3億8000万円**
- **アパッチヘリコプター** 1機: **18億円** • **ステルス戦闘機** 1機: **146億円**
- **精密誘導爆弾**: **216万円** • **トマホーク巡航ミサイル**: **1億6800万円** そして、
- **20万人の兵隊**がこれらの爆弾や車両の燃料、食糧に **1カ月約1兆円**が消費される。

更に「ブッシュ大統領はアメリカ議会に9兆円の追加予算を組むように指示した」ことやその「予算で新しい武器を生産すること」にも触れていました。番組出演者の4年生(だったと思う)の女の子が「なんで? もっと大切なことにお金を使えばいいのに・・・」と発言しました。

この発言が多く地球市民の意見を代表している事を望みます。

話題 其の38: “イラク戦争の陰で・・・”

先日我が家に通うフィリピン人のメイドさんから「ヨルダンに駐留している米国人が多くのフィリピン人のメイドを募集しているけどどうしよう。月給は350ドルも貰えるし、何より1年間の雇用契約を結ぶから堂々とヨルダンで暮らせるのよ。友達の何人かは既に行ったわ。」と相談してきました。ヨルダン政府は、イラク戦争の為に米軍が駐留することを拒否しています。あくまでもヨルダン政府との合同軍事演習という表面上の理由で駐留しているのです。

この軍事演習中(名目上)の米軍が、不法滞在のフィリピン人達と、1年間の雇用契約を正式に結ぶこと自体が不自然です。イスラムでは現地調達が出来ない「従軍慰安婦か?」ととっさに思いついたので、「2週間ほど様子見て決めれば」と返事をしました。

あれから2週間、今日時点での彼女の話では、「40名のメイドが、洗濯や掃除、料理そしてホステスみたいな仕事をしているみたい。みんな携帯電話を没収され、外部とのコンタクトや金曜日の休暇も厳重な警備で外に出して貰えない。契約書も交わされていない様子だし、米軍の帰還と共にフィリピンに強制送還されると思うわ。」これらは確かな根拠のある情報では無いでしょう。また彼女の推測も入っているでしょう。仮に、この全てが事実としても、現状証拠や被害者証言を得るのはとても難しいでしょうね。何故なら、イラク戦争もこの様な貧しい人の足下を見るような出来事も、「国家的組織犯罪を見て見ぬ振りする国際社会における暗黙の了解」ですから。哀しいことですよ。
